

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における  
 主な事業の達成状況について 【計画期間：平成24年度～26年度】

資料1-3

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)  
 ○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)  
 △ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)

27年度以降の方向性  
 ↗ 拡充 → 現状維持  
 ↘ 縮小 × 廃止

第2章 介護保険制度の円滑な運営

(1) 介護保険サービスの質の確保・向上

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位	5期計画(24～26年度)						24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容
							24年度		25年度		26年度				
							数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績			
4	介護相談員派遣事業の実施	介護相談員派遣事業	市が委嘱した介護相談員が、サービス事業所を訪問して利用者等の相談に応じることに伴い、その疑問・不安・不満の解消を図るとともに、派遣を受けた事業所におけるサービスの質の向上を図る介護相談員派遣事業を引き続き実施します。	介護保険課	2章1-4 P53	介護相談員 20名 訪問事業所 57か所	57	57	57	57	57	57	介護相談員を計画的に事業所へ派遣し、サービス利用者やその家族が抱く各種疑問や不安・不満の解消を図るとともに、事業所におけるサービスの質的向上を図った。	→	引き続き、現派遣体制を維持していくことで、利用者等が抱く各種疑問や不安・不満の解消に寄与するとともに、派遣先の事業所におけるサービスの質的向上を図る。
5	介護保険給付の適正化	給付適正化事業(ケアプラン点検等事業※実地指導・集団指導等を含む)	給付の適正化を図るため、引き続き事業者実地指導に取り組むとともに、介護保険事業者集団指導や住宅改修について施工前・後に現地確認を行うほか、介護給付費通知、居宅介護計画費の点検などを実施します。	介護保険課	2章1-5 P53	事業所数 か所	160	161	160	162	160	162	各年度、年間160事業所を上回る実地指導を行い、数値目標を達成した。また、居宅介護支援事業所に対しては、併せてケアプラン点検等を行った。	→	引き続き、給付適正化を図るため、実地指導、ケアプラン点検等を行う。

(4) 介護人材の確保・定着

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位	5期計画(24～26年度)						24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容
							24年度		25年度		26年度				
							数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績			
1	介護職員初任者研修受講者支援事業(旧 ホームヘルパー2級資格取得)	介護職員初任者研修受講者支援事業(旧 ホームヘルパー2級資格取得)	介護職員初任者研修修了後、市内の介護施設等で一定期間就業した場合に、資格取得に要した経費のうち半額(上限50,000円)を助成する制度を実施します。	介護保険課	2章4-1 P55	介護職員初任者研修修了者数	50	50	100	96	100	54	初任者研修受講者を支援することで、介護サービスを担う人材を確保した。	↗	助成人数を平成28年度は150名、平成29年度は200名に拡充する。 引き続き、資格養成校、市内の介護施設等へ広報活動を行い、対象者に対し事業を周知することで、さらなる人材確保・定着を図る。
3	介護人材の確保に向けた広報の充実	趣旨普及事業	介護の重要性について理解を深め、魅力ある仕事として認められるよう、市政だよりやホームページなどを活用した広報活動を行います。	介護保険課	2章4-3 P55	「介護の日」標語応募件数	50	36	50	56	50	101	介護の重要性や介護にかかわる仕事を身近に感じ、理解してもらうために「介護にまつわる標語」の募集・標語を使った広報活動を行った。周知を広く行うことにより、年々応募件数が増加するなど認知を高めることができた。 また、「介護マーク」をあんしんケアセンター等関係機関に配布し、その周知に努めた。	→	引き続き、現状の広報活動を行うとともに、介護人材の確保に直接的につながるような広報施策を検討していく。 平成27年度は、AEON幕張店内掲示スペースに制度改正のポスターを掲示するなど、新たな手段を活用することも試みている。

(5) 市民への広報・情報提供の充実

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位	5期計画(24～26年度)						24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容
							24年度		25年度		26年度				
							数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績			
1	制度や事業者情報に関する広報の推進	趣旨普及事業	介護保険の制度や仕組みを市民がわかりやすいように解説したパンフレット、市政だより、保険料のしおりなどを作成し、窓口などで配布するとともに、ホームページの掲載情報の充実を図ります。併せて、地域や団体などを対象に、随時、出前講座等を開催するなど介護保険制度に関する広報の充実を努めます。 また、事業者情報について、介護保険サービス事業者ガイドブック(ハートページ)や介護保険サービス事業者一覧表などを作成し、窓口などで配布するほか、「介護サービス情報の公表」の内容について、事業者選択等の参考となるよう、ホームページなどで情報提供します。	介護保険課	2章5-1 P56	「みんなで支え合う介護保険パンフレット」の配布部数	40,000	40,000	45,000	45,000	45,000	41,000	介護保険制度の広報活動について主に以下の広報ツールを作成し、それをもとに関係機関での配布・周知また出前講座に取り組み、普及啓発を計画通り行った。 ①千葉県における介護保険制度を周知する冊子「みんなで支え合う介護保険」 ②介護保険料のしおり また、「ハートページ(介護保険サービス事業者ガイドブック)」についても、関係機関での配布・周知を積極的に行った。	→	引き続き、広報ツールを用いた普及啓発を図るとともに、介護保険課ホームページでの情報提供も積極的に進めていくことを検討する。

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における  
 主な事業の達成状況について 【計画期間：平成24年度～26年度】

資料1-3

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)  
 ○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)  
 △ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)

27年度以降の方向性  
 ↗ 拡充 → 現状維持  
 ↘ 縮小 × 廃止

第3章 介護予防の推進

(1) 一次予防事業

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		5期計画(24～26年度)						24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容
								24年度		25年度		26年度				
								数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績			
1	シニア健康づくり教室	シニア健康づくり教室	65歳以上の方を対象に、栄養改善・口腔機能の向上等を図るため、介護予防の知識の普及・啓発に関する介護予防教室を開催します。	健康支援課	3章1-1 P62	実施回数	回	378	537	378	471	378	455	保健福祉センター会場だけでなく、町内自治会等地域の組織と連携して公民館や集会所等で教室を開催することで、より多くの高齢者に対して介護予防の知識の普及・啓発を行うことができた。	廃止	介護保険制度の改正に伴い、新たに「介護予防教育事業」として、歯ぐき健康教室(二次予防事業)、シニア健康づくり相談事業の一部(講演会)を統合して実施する。 高齢者が住み慣れた地域で、継続して介護予防に取り組めるよう、自治会程度の単位で教育を実施し地域での介護予防活動の必要性を普及・啓発していく。
								達成率	142.1%		124.6%		120.4%			
								進捗度	☆		☆		☆			
2	シニア健康づくり相談	シニア健康づくり相談	65歳以上の方を対象に、生活機能の低下予防等について、健康・栄養・口腔等の個別相談を行ないます。	健康支援課	3章1-2 P62	実施回数	回	528	425	528	345	528	264	健康教育やがん検診、二次予防事業等の他事業に併設して実施するなど、栄養・口腔・運動等介護予防についての相談について個別に対応をすることができた。	廃止	介護保険制度の改正に伴い、新たに「介護予防相談事業」として、65歳以上の人を対象に健康・運動・栄養・口腔などの個別相談を行う。 また、事業の一部(講演会)を「介護予防教育事業」に移管する。
								達成率	80.5%		65.3%		50.0%			
								進捗度	△		△		△			
3	脳の健康教室	脳の健康教室	簡単な読み書き・計算と軽運動を組み合わせた認知症予防の教室を開催します。	地域包括ケア推進課(高齢福祉課)	3章1-3 P62	コース数	コース	6	6	6	6	6	6	全会場で定員を超える応募があり、新規・リピーターともに多くの市民の方に参加いただいた。 平成24年度参加実人数 195人 平成25年度参加実人数 185人 平成26年度参加実人数 186人	廃止	介護保険制度の改正による介護予防の枠組み変更(各機能別→総合型)に伴い、認知症予防プログラムを組み入れた新たな事業として「チャレンジシニア教室」、「シニア水中プログラム」、「シニアリーダー講座」を実施する。
								達成率	100.0%		100.0%		100.0%			
								進捗度	☆		☆		☆			
5	健康づくりプロジェクト事業	健康づくりプロジェクト事業	プロサッカーチームやプロ野球チームのトレーナーなどが講師となり、自宅で簡単にできるストレッチや筋力トレーニングなどを実施し、体力づくりのノウハウを提供します。	高齢福祉課	3章1-5 P62	延べ参加者数	人	420	326	420	358	420	322	参加者数は数値目標に届かなかったが、介護とは縁遠い元気な高齢者に対し、介護予防の観点からの体力作りのノウハウを提供することができた。	→	会場数を増やすなどの工夫を図り、より多くの高齢者が介護予防・健康づくりに取り組めるように支援していく。
								達成率	77.6%		85.2%		76.7%			
								進捗度	△		△		△			
7	地域参加支援事業	地域参加支援事業	地域のボランティアの協力を得て、閉じこもり予防のためのスポーツ・レクリエーションや絵画、工芸等の創作活動を実施します。	健康支援課	3章1-7 P62	会場数	会場	90	75	90	83	90	95	町内自治会等地域の組織と連携し、開催場所を増やして実施することができたが、実施地域には偏りがあり、住民主体の活動にはつながりにくかった。	↗	公民館、集会所等住民に身近な場所において、高齢者が社会参加できるような介護予防活動の支援を推進するため、地区組織等との連携を深めていく。
								達成率	83.3%		92.2%		105.6%			
								進捗度	△		○		☆			
8	介護予防普及啓発事業	介護予防普及啓発事業	「いきいきあんしんプログラム」の愛称を活用しながら、パンフレット等の配布や講演会・相談会を開催し介護予防に関する知識の普及・啓発を行います。	地域包括ケア推進課(高齢福祉課)	3章1-8 P62	参加者数	人	10,000	11,641	10,000	16,869	10,000	23,029	各あんしんケアセンターにて、講演会、教室・ミニ講座・相談会・イベント等を開催し、多くの市民の方に参加いただき、介護予防に関する知識の普及・啓発を図ることができた。 平成24年度参加実人数 11,641人 平成25年度参加実人数 16,869人 平成26年度参加実人数 23,029人	↗	講演会の中にはシリーズ化されたものがあり、より一層発展していく傾向がある。 地域住民のニーズを把握し、求められるイベントや介護予防教室等の開催に努めていく。
								達成率	116.4%		168.7%		230.3%			
								進捗度	☆		☆		☆			
9	地域介護予防活動支援事業	地域介護予防活動支援事業	あんしんケアセンター等において、介護予防ボランティアを育成するため、研修や地域活動組織の育成や支援を行います。	地域包括ケア推進課(高齢福祉課)	3章1-9 P63	開催回数	回	510	676	680	950	950	748	地域活動組織の育成に資する研修会や教室の後方支援を行っているが、リーダーになり得る市民の方が見つからないのが現状であり、まだまだ育成における課題がある。 しかし、中には体操教室における後方支援を行い、ボランティアの育成が実った事例もあるため、今後の創意工夫が求められる。 平成24年度参加実人数 5,912人 平成25年度参加実人数 10,033人 平成26年度参加実人数 12,463人	→	地域住民が主体となって介護予防に取り組むことができる環境づくりを行うため、引き続きあんしんケアセンター等関係機関と連携して積極的に介護予防ボランティアや地域活動組織の育成を行う。
								達成率	132.5%		139.7%		78.7%			
								進捗度	☆		☆		△			

※担当課の( )内は平成27年度組織改正以前の担当課

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における  
 主な事業の達成状況について 【計画期間：平成24年度～26年度】

資料1-3

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)  
 ○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)  
 △ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)

27年度以降の方向性  
 ↗ 拡充 → 現状維持  
 ↘ 縮小 × 廃止

(2) 二次予防事業

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位	5期計画(24～26年度)						24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容	
							24年度		25年度		26年度					
							数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績				
1	二次予防事業対象者把握事業	二次予防事業対象者把握事業	基本チェックリストの結果より、要介護状態等となるおそれが高い高齢者(二次予防事業対象者)を選出し、早期に介護予防事業の参加へつなげます。	地域包括ケア推進課(高齢福祉課)	3章2-1 P63	二次予防事業対象者数	人	14,200	11,850	14,750	11,702	15,203	11,037	基本チェックリストの返送率は、75%を超え、高い返送率であったが、事業への参加者数は目標値(対象者数の10%)には届かなかった。(平成24年度参加者数:927人 平成25年度参加者数:1,079人 平成26年度参加者数:1,056人) 国全体でも参加率10%には到達しておらず、基本チェックリストの個別送付は対象者把握方法としては費用に比して非効率であるとされ、地域支援事業交付金の対象外となった。	廃止	国の方針転換に合わせて基本チェックリストの一括送付を廃止する。一次・二次の区分けをなくした介護予防・生活支援ニーズ把握事業として、基本チェックリストの窓口配置、介護予防事業案内文に基本チェックリストを組み込んで送付するなどの取組を実施し、できるだけ多くの高齢者に基本チェックリストでセルフチェックを行っていただくようにする。
								達成率	83.5%		79.3%		72.6%			
								進捗度	△		△		△			
2	元気アップ教室	元気アップ教室	運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上、認知症予防等を図るためのプログラムを提供するとともに、日常生活における実践指導を行う教室を開催します。	健康支援課	3章2-2 P63	実施回数	回	480	391	480	386	480	391	平成24年度よりあんしんケアセンターが増設されたことにより参加者数は増加しているが、数値目標の半分以下にとどまっている。また、教室が終了して地域に戻った後も継続して介護予防に取り組むことができる環境づくりが必要である。	廃止	介護保険制度の改正に伴い、二次予防事業対象者に限定した本事業は廃止する。
								達成率	81.5%		80.4%		81.5%			
								進捗度	△		△		△			
				参加人数	人	8,000	3,136	8,000	3,598	8,000	3,153					
						達成率	39.2%		45.0%		39.4%					
						進捗度	◆		◆		◆					
地域包括ケア推進課(高齢福祉課)	3章2-2 P63	コース数	コース	58	58	59	59	59	59							
				達成率	100.0%		100.0%		100.0%							
				進捗度	☆		☆		☆							
3	口腔ケア事業	口腔ケア事業	歯科医院において口腔機能(咀嚼(そしゃく)、嚥下(えんげ)など)の状態を把握し、必要な相談・指導を行います。	健康支援課	3章2-3 P63	口腔ケア事業受診者数	人	—	641	—	737	1,304	622	あんしんケアセンターが増設されたことにより受診者数は増加したが、受診者数をより向上させるためにあんしんケアセンターとの連携を図るなどの取り組みが必要である。	→	介護保険制度の改正に伴い、今後は対象を一次予防事業対象者まで広げるとともに、受診者数の増加に向けてあんしんケアセンター等関係機関との連携を図る。
								達成率	—		—		47.7%			
								進捗度	—		—		◆			
5	歯っぴー健口教室	歯っぴー健口教室	口腔機能向上を目的に日常生活に取り入れられる口腔ケア・口腔体操等を実施する教室を開催します。	健康支援課	3章2-5 P63	歯っぴー健口教室参加者数	人	—	462	—	456	1,440	479	参加者数の増加に向けて、あんしんケアセンターに教室PR用のチラシを配布するとともに、教室に対する理解を深めてもらうために、あんしんケアセンター職員を見学へ誘うなどの取り組みを行った。	廃止	介護保険制度の改正に伴い、新たに「介護予防教育事業」に統合して事業を実施する。参加者の増加につながる魅力的なプログラムとなるよう、会場・開催回数なども含めた内容を検討する。
								達成率	—		—		33.3%			
								進捗度	—		—		◆			
7	脳の健康教室	脳の健康教室	簡単な読み書き・計算と軽運動を組み合わせた認知症予防の教室を開催します。	地域包括ケア推進課(高齢福祉課)	3章2-7 P63	コース数	コース	6	6	6	6	6	6	市政だよりによる一般高齢者の公募が多数を占めているが、二次予防事業対象者についても数名分枠を設け地域包括を通して事業に参加する。 平成24年度実参加者数 18人 平成25年度実参加者数 19人 平成26年度実参加者数 18人	廃止	介護保険制度の改正による介護予防の枠組み変更(各機能別→総合型)に伴い、認知症予防プログラムを組み入れた新たな事業として「チャレンジシニア教室」、「シニア水中プログラム」、「シニアリーダー講座」を実施する。
								達成率	100.0%		100.0%		100.0%			
								進捗度	☆		☆		☆			
10	訪問指導事業	訪問指導事業	閉じこもり、認知症、うつ等のおそれがある高齢者の居宅を保健師等が訪問して必要な相談・指導を実施します。	健康支援課	3章2-10 P64	件数	件	54	4	54	0	54	5	介護予防を目的として、保健師等が訪問指導を実施しているが、二次予防事業プログラムとしての訪問は少なかった。	廃止	二次予防事業対象者に限定した本事業は廃止し、訪問の必要がある高齢者には、一般介護予防(現一次予防)事業で対応していく。
								達成率	7.4%		0.0%		9.3%			
								進捗度	◆		◆		◆			

※担当課の( )内は平成27年度組織改正以前の担当課

(3) その他事業

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位	5期計画(24～26年度)						24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容	
							24年度		25年度		26年度					
							数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績				
2	機能回復訓練	いきいきプラザ及びいきいきセンター機能回復訓練	いきいきプラザ・いきいきセンターにおいて、リハビリ体操やストレッチ体操を行い、身体機能の低下防止を図ります。	高齢施設課	3章3-2 P64	参加人数	人	13,968	14,346	14,346	15,871	15,871	17,138	いきいきプラザ・いきいきセンターにおいて、リハビリ体操やストレッチ体操を実施し、概ね計画を達成した。	→	引き続き、いきいきプラザ・いきいきセンターの次期指定管理業務として、身体機能の低下防止を図るためのリハビリ体操やストレッチ体操を実施し、実施状況やアンケートなどを検証し、必要な見直しについて検討していく。
								達成率	102.7%		110.6%		108.0%			
								進捗度	☆		☆		☆			

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における  
 主な事業の達成状況について 【計画期間：平成24年度～26年度】

資料1-3

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)  
 ○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)  
 △ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)

27年度以降の方向性  
 / 拡充 → 現状維持  
 \ 縮小 × 廃止

第4章 生涯にわたる健康づくりの推進

(1) 健康づくり活動の推進

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		5期計画(24～26年度)						24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容
								24年度		25年度		26年度				
								数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績			
4	食育の推進	食育推進事業	市民一人ひとりが健全な食生活を実践し、生涯にわたって健康で豊かな人間性をはぐくむことができるよう、食育を推進します。	健康支援課	4章1-4 P70	食育のつどい参加者数	人	493	3,175	493	3,567	493	6,484	千葉県食育推進計画(計画期間:平成21～25年度)に基づき食育を推進した。平成23年度まで講演会形式で実施していた「食育のつどい」を、平成24年度からイベント形式に変更したことで参加者の増加につながり、多くの市民に食育の周知を図ることができた。 また、平成26年度に第2次千葉県食育推進計画(計画期間:平成26～30年度)を策定した。	→	第2次千葉県食育推進計画(計画期間:平成26年～30年度)に基づき、引き続き食育を推進する。
								達成率	644.0%		723.5%		1315.2%			
								進捗度	☆		☆		☆			
5	ヘルスサポーターの養成	健康づくり推進事業 健康運動対策事業(H25～)	家庭や身近な地域の中で、健康づくりを実践する仲間づくりを進める「ヘルスサポーター」を養成します。	健康支援課	4章1-5 P70	実施回数	回	60	60	72	59	72	54	地域の中心となって運動を継続するヘルスサポーターを養成する「ヘルスサポーター養成教室」の開催や、市内に所在する事業所や団体に健康運動指導士を派遣し、講話や実技指導を行う「チャレンジ運動講習会」の実施により市民が運動に取り組む環境を整えた。	→	引き続き、地域の中心となって健康づくりを実践するヘルスサポーターを養成する。 また、推進する類似の健康づくり事業との事業整理も検討しながら、今後も健康づくり事業を推進する。
								達成率	100.0%		81.9%		75.0%			
								進捗度	☆		△		△			

(2) 生活習慣病・疾病予防対策の推進

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		5期計画(24～26年度)						24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容
								24年度		25年度		26年度				
								数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績			
1	がん検診等の推進	がん検診事業	がん等の疾病の早期発見・早期治療を図るため、がん検診・歯周疾患検診・骨粗しょう症検診などを実施します。	健康支援課	4章2-1 P71	受診率	%	50	26.4	50	25.7	50	26.6	検診を受診しやすい環境づくりとして、乳がん・子宮がんの同時開催や夜間検診、検診時の子供の見守り等を実施したほか、スーパー等人の集まる会場で検診を実施した。 また、子宮がん・乳がん・大腸がん検診の無料クーポン券を一定の年齢に交付し受診率向上に努めた。目標となる受診率には達しなかったが、一定の効果が得られた。	→	市民ニーズの高い検診時の子供の見守りについては、各区保健福祉センターにおいて実施するほか、子宮がん・乳がん・大腸がん検診の無料クーポン券を一定の年齢に交付する。また、引き続き乳がん・子宮がん検診の同時開催や夜間検診、スーパー等での検診を実施し、受診率向上を図る。
								達成率	52.8%		51.4%		53.2%			
								進捗度	△		△		△			
4	健康教育	健康教育	健康に関する正しい知識の普及を図るため、講演会等の集団健康教育を行うほか、禁煙に関する個別健康教育を実施します。	健康支援課	4章2-4 P71	参加者数	人	—	6,127	—	7,723	6,107	10,041	個別健康教育は喫煙1領域のみ実施。糖尿病対策は、平成24年度末には、全区健康課で糖尿病サークルを実施し、一定の成果が得られた。 また、平成25年度より、機能訓練事業の廃止に伴い、心身機能の低下する前段階の予防のために、本事業を拡充した。	→	個別健康教育喫煙領域と併せてCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の普及啓発を充実させる。 働き世代へのアプローチの難しさはあるものの、生活習慣予防において重要な対象であることから、今後も引き続き、機会を捉えた知識の普及を行う。
								達成率	—		—		164.4%			
								進捗度	—		—		☆			
5	健康相談	健康相談	市民のニーズに応じて、疾病予防や生活習慣の改善など、心身の健康に関する個々の相談に応じ、必要な指導や助言を実施します。	健康支援課	4章2-5 P71	相談件数	人	—	10,025	—	9,896	15,000	12,917	健康教育、特定健康診査、精神保健福祉相談等の事業と連携を保ちながら実施した。	→	生活習慣病予防について、住民の健康意識の高まりとともに、情報も氾濫している。今後も引き続き、関係団体や地区組織等の協力を得ながら、多様化する相談に対応できるよう配慮する。
								達成率	—		—		86.1%			
								進捗度	—		—		△			
6	訪問指導	訪問指導	虚弱高齢者や生活習慣の改善が必要な人等に保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士等が訪問し保健指導を実施します。	健康支援課	4章2-6 P71	訪問指導者数	人	—	620	—	605	1,036	423	訪問対象者は減少傾向にあるが、未だ把握できていない訪問対象者が潜在していると推測できる。すでに他機関が支援している対象者であっても、行政や専門職が関わる必要性を再確認する必要がある。	→	特定疾患や自立支援の申請時、民生委員等の地域住民、他課や関係機関からの情報収集を行い、適切な訪問対象者を把握する。
								達成率	—		—		40.8%			
								進捗度	—		—		◆			
8	感染症予防対策	高齢者予防接種事業	抵抗力が低下しがちな高齢者に対し、感染予防やまん延防止のための正しい知識の普及・啓発に努めるとともに、高齢者のインフルエンザの発病や重症化を防止するため、引き続き予防接種を実施します。	健康企画課	4章2-8 P71	被接種者数	人	115,084	103,472	116,610	107,841	115,843	111,733	対象者全員への個別通知を廃止するなか、概ね50%の接種率を達成することができた。	→	個別通知に頼らない効果的な周知方法を検討し、接種率の向上を図る。
								達成率	89.9%		92.5%		96.5%			
								進捗度	△		○		○			

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における  
 主な事業の達成状況について 【計画期間：平成24年度～26年度】

資料1-3

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)  
 ○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)  
 △ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)

27年度以降の方向性  
 ↗ 拡充 → 現状維持  
 ↘ 縮小 × 廃止

(3) 健康づくり体制の整備

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	5期計画(24～26年度)						24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容		
						24年度		25年度		26年度						
						数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績					
1	地域健康づくり支援ネットワークの推進	地域健康づくり支援ネットワーク事業	地域住民と医療機関等との協力のもと、健康づくり情報を共有・普及するとともに、健康づくり活動を実践することで、地域住民の健康への関心を高め、地域の特性に合ったネットワークづくりを進めます。	健康支援課	4章3-1 P72	実施回数	回	12	10	12	10	12	11	区毎の健康課題解決のために地区の関係者で情報共有と啓発方法の検討を行う「地域健康づくり支援連絡会」を開催しその結果を反映して、各区工夫を凝らした啓発活動を実施した。	→	ネットワークの強化に努め、地域の健康問題の解決を図る。また地域の民間事業等にもネットワークを広げてゆけるよう検討し情報の収集や発信を広げる。
								達成率	83.3%		83.3%		91.7%			
								進捗度	△		△		○			
2	プライマリ・ケアの推進	かかりつけ医推進事業	プライマリ・ケアの中心的な役割を担う、かかりつけ医の定着を促進するため、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持つことの必要性に関する普及・啓発や市民が必要とする保健医療サービスの情報提供に努めます。	健康企画課	4章3-2 P72	インターネット版わたしの町のお医者さんアクセス数	件	250,000	282,113	250,000	262,738	250,000	360,661	「わたしの町のお医者さん」の冊子版、各区役所設置の端末及びインターネットにより、市内医療機関に係る情報提供を行い、市民からのニーズに対応した。	→	かかりつけ医・薬局を持つことの重要性についてチラシを作成するなど、更なる推進を図る。
								達成率	112.8%		105.1%		144.3%			
								進捗度	☆		☆		☆			

第5章 生きがいくりと社会参加の促進

(1) 社会参加活動の充実

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	5期計画(24～26年度)						24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容		
						24年度		25年度		26年度						
						数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績					
1	いきいきプラザ・いきいきセンターの運営	老人福祉センター管理運営	高齢者が健康で生きがいのある生活が送れるように、健康等の相談に応じたり、健康増進やレクリエーション活動を行うことができる施設で、機能回復訓練、高齢者福祉講座、世代間交流等の事業を行います。	高齢施設課	5章1-1 P78	利用人数	人	585,843	605,820	605,820	600,006	605,820	615,552	いきいきプラザ・いきいきセンターにおいて、健康相談、機能回復訓練、高齢者福祉講座、世代間交流等の事業を実施し、概ね計画を達成した。	→	平成28年度に非公募により指定管理者が更新予定であり、運営状況等を検証し、必要な見直しを検討していく。
								達成率	103.4%		99.0%		101.6%			
								進捗度	☆		○		☆			
2	老人クラブ育成	老人クラブ育成指導事業	地域に住む高齢者が集まり、レクリエーションや社会奉仕活動を通じて健康増進や生きがいくりを旨とする自主的な組織を育成します。	高齢福祉課	5章1-2 P78	老人クラブ数	クラブ	306	309	304	301	296	287	高齢者人口は年々伸びているものの、老人クラブ数は微減傾向であり、老人クラブに加入する高齢者の割合は減少している。	→	元気な高齢者が地域での見守り活動など社会奉仕活動への参加がますます求められており、老人クラブへの加入促進を図る必要がある。
								達成率	101.0%		99.0%		97.0%			
								進捗度	☆		○		○			
3	いきいき活動外出支援	いきいき活動外出支援	高齢者団体が実施する研修、視察、ボランティア活動等の外出に対し、借上バスの費用の一部を補助することで高齢者の社会参加の促進を図ります。	高齢施設課	5章1-3 P78	利用人数	人	5,744	5,726	6,801	6,840	6,840	6,191	利用人数が増加しており、高齢者の社会参加を促進について概ね計画を達成した。	→	高齢者の社会参加促進のため引き続き事業を実施するとともに、実施状況等を検証し、必要な見直しを検討していく。
								達成率	99.7%		100.6%		90.5%			
								進捗度	○		☆		○			
4	ことぶき大学の運営	ことぶき大学校事業	高齢者が知識や技術を習得し、仲間づくりや社会活動への参加を通じ、豊かで充実した生活が送れるよう、学習と活動の場を提供します。	高齢福祉課	5章1-4 P78	入学者数	人	240	187	240	179	210	164	学生生活や授業内容について学生から高い評価を得ているとともに、9割を超える学生から地域活動・ボランティアに対する参加意欲が高まったとするアンケート結果が出るなど効果が現れている。その反面、就学期間の短縮(2年→1年)、授業料の値上げなどを要因として、美術、園芸学科の定員割れが続いた。	→	ハーモニープラザのあり方について、資産経営部が中心となり、全庁的に施設の有効活用の検討を進めているが、当面は現状維持で事業を続けていく。
								達成率	77.9%		74.6%		78.1%			
								進捗度	△		△		△			
6	スポーツ・レクリエーションの振興	高齢者スポーツ広場事業	スポーツ・レクリエーションを通じ、健康づくり、仲間づくりを進めるため、多くの高齢者がスポーツ・レクリエーション活動に参加できるように、高齢者スポーツ広場の整備などにより活動の場の確保に努めます。	高齢施設課	5章1-6 P79	利用人数	人	20,712	19,234	19,234	19,265	19,265	19,312	市未利用地を暫定的に活用し、広場を新たに1箇所整備を行うとともに、利用が見込まれない2箇所を廃止し、施設の整理を行った。	→	高齢者のスポーツ・レクリエーション活動の場として引き続き高齢者スポーツ広場を確保する。また、利用状況を検証し、必要な見直しを検討していく。
								達成率	92.9%		100.2%		100.2%			
								進捗度	○		☆		☆			
7	全国健康福祉祭参加事業	全国健康福祉祭参加事業	高齢者のスポーツの祭典である全国健康福祉祭に千葉県選手団を派遣することで、健康の保持・増進、社会参加や生きがいくりを進めます。	高齢福祉課	5章1-7 P79	参加者数	人	146	78	170	122	181	120	開催都市により参加種目も異なるが、参加者数は増加傾向にあり、スポーツ活動等を通じ、高齢者の健康の保持、増進と生きがいの高揚を図ることができた。	→	引き続き全国健康福祉祭に千葉県選手団を派遣する。
								達成率	53.4%		71.8%		66.3%			
								進捗度	△		△		△			

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における  
 主な事業の達成状況について 【計画期間：平成24年度～26年度】

資料1-3

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)  
 ○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)  
 △ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)

27年度以降の方向性  
 ↗ 拡充 → 現状維持  
 ↘ 縮小 × 廃止

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		5期計画(24～26年度)						24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容
								24年度		25年度		26年度				
								数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績			
8	世代間交流の促進	老人福祉センター管理運営 ことぶき大学校事業	高齢者の豊富な知識や経験を、老人クラブやことぶき大学校の活動等を通じて、若い世代に伝えます。 保育所や高齢者施設等で、高齢者と子ども達の交流事業を実施します。 子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めるため、小学生を対象として、放課後や週末等に小学校の施設等を利用して、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等を行っておりますが、この中で、子どもたちと高齢者の交流を進めます。	高齢福祉課	5章1-8 P79	参加者数	人	86	67	80	91	63	52	高齢者とふれあう場や機会が少ない子供たちと体験活動(園芸や美術)を通じて交流を図ることを目的として実施し、各年度とも数十人規模の小学生の参加があり一定の世代間交流が図られた。	→	ハーモニープラザのあり方について、資産経営部が中心となり、全庁的に施設の有効活用の検討を進めているが、当面は現状維持で事業を続けていく。
								達成率	77.9%	△	113.8%	☆	82.5%			
8	世代間交流の促進	放課後子ども教室推進事業	高齢者の豊富な知識や経験を、老人クラブやことぶき大学校の活動等を通じて、若い世代に伝えます。 保育所や高齢者施設等で、高齢者と子ども達の交流事業を実施します。 子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めるため、小学生を対象として、放課後や週末等に小学校の施設等を利用して、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等を行っておりますが、この中で、子どもたちと高齢者の交流を進めます。	高齢施設課	5章1-8 P79	参加人数	人	5,246	5,587	5,587	5,402	5,587	5,041	いきいきプラザ・いきいきセンターにおいて、高齢者と小中学校生と一緒に学習や工作を行う世代間交流事業を実施し、概ね計画を達成した。	→	平成28年度に非公募により指定管理者が更新予定であり、実施状況や参加者からのアンケートなどを検証し、必要な見直しについて検討する。
								達成率	106.5%	☆	96.7%	○	90.2%			
8	世代間交流の促進	放課後子ども教室推進事業	高齢者の豊富な知識や経験を、老人クラブやことぶき大学校の活動等を通じて、若い世代に伝えます。 保育所や高齢者施設等で、高齢者と子ども達の交流事業を実施します。 子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めるため、小学生を対象として、放課後や週末等に小学校の施設等を利用して、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等を行っておりますが、この中で、子どもたちと高齢者の交流を進めます。	保育運営課	5章1-8 P79	施設数	カ所	116	116	123	123	131	131	保育施設の開設に合わせ受け入れ施設を毎年増やし、参加する機会を増やしていった。	↗	保育所(園)や高齢者施設での世代間交流を千葉市内の公立保育所等で引き続き行っていく。民間新設園開設に伴い受け入れ施設を増やしていく。
								達成率	100.0%	☆	100.0%	☆	100.0%			
9	高齢者学級・講座の充実	老人福祉センター管理運営	いきいきプラザ・いきいきセンターでは、絵手紙、陶芸、健康体操などの福祉講座の充実を図ります。 公民館や生涯学習センターでは、学習需要や社会の変化に対応して、高齢者を対象に、仲間づくりや社会参加活動の促進につながる各種事業を実施します。	高齢施設課	5章1-9 P79	参加人数	人	45,759	45,502	45,759	45,830	45,830	46,561	いきいきプラザ・いきいきセンターにおいて、健康体操、陶芸、絵手紙などの福祉講座を実施し、概ね計画を達成した。	→	引き続き事業を実施し、参加者からのアンケートや人数などを検証し、必要な見直しについて検討する。
								達成率	99.4%	○	100.2%	☆	101.6%			
10	ボランティア活動の促進	千葉県社会福祉協議会補助金(地域ぐるみ福祉ネットワーク事業)	千葉県社会福祉協議会のボランティアセンターでは、幅広い市民のボランティア活動への積極的な参加を促すため、情報の提供や講座を開催し、ボランティアの育成を図ります。 また、ボランティア活動の活動施設や書籍等の貸出しを行い、ボランティア活動を行う人を支援します。	地域福祉課	5章1-10 P79	ボランティア登録者数	人	—	9,557	—	9,511	9,250	9,393	千葉県社会福祉協議会主催の市民向けボランティア講座は計画どおり全て実施した。講座によって参加人数に差があるものの、全体としては参加者数が目標の約8割となり、目標は概ね達成できたと思われる。 また、千葉県社会福祉協議会ホームページで、本会や地区部会、各種ボランティア団体等の活動状況を掲載するとともに、地域で必要とする福祉情報を発信した。	↗	千葉県社会福祉協議会主催事業として、小・中学生向け、高校生・大学生向け、シニア向け及び一般向けにボランティア活動を始めるきっかけづくりとして、体験を含めた講座を開催する。 また、入門講座修了者やボランティア実践者を対象に、様々な活動依頼に対応するため、必要な知識や技術のステップアップを図る講座を開催する。 千葉県社会福祉協議会ホームページも使いやすく見やすい構成とし、新たなページの増設や必要とされる情報の迅速かつ弾力的な掲載により、ボランティア活動施設の紹介や社協活動の理解促進を図る。
								達成率	—	—	—	101.5%	☆			
11	シニア世代地域活動支援セミナー	シニア世代地域活動支援セミナー	シニア世代の人々が培ってきた豊かな知識や経験を、ボランティア活動等の地域活動にいかしてもらうことを目的に、セミナーを開催します。	市民自治推進課	5章1-11 P79	参加者数	人	40	46	40	41	40	63	平成26年度から、千葉市民活動支援センターの指定管理業務に包含。指定管理者のノウハウやシニア関連施設との連携、効果的なPR等により、セミナー参加者数が増加した。	→	引き続き指定管理者と連携し、シニア世代の方々に関心を示していただけるセミナーを開催する。
								達成率	115.0%	☆	102.5%	☆	157.5%			
12	ボランティアデータベースの運用	千葉県ボランティア情報「ちばぼら」	ボランティア活動の活性化を図るため、市、千葉県国際交流協会、千葉県ボランティアセンター及びちば生涯学習ボランティアセンターが保有するボランティア関連情報を集約し、情報提供します。	市民自治推進課	5章1-12 P79	アクセス数	件	12,000	14,066	15,000	18,585	19,000	25,312	平成25年度にシステムの機能強化を行い、利用しやすい環境を整えた結果、アクセス数の増加につながった。	↗	引き続き「ちばぼら」の周知を行うとともに、利用者や各機関の意見等を参考に、機能強化等について検討していく。
								達成率	117.2%	☆	123.9%	☆	133.2%			

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における  
 主な事業の達成状況について 【計画期間：平成24年度～26年度】

資料1-3

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)  
 ○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)  
 △ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)

27年度以降の方向性  
 ↗ 拡充 → 現状維持  
 ↘ 縮小 × 廃止

(2) 高齢者の就労支援

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	5期計画(24～26年度)						5期計画(24～26年度) 24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	6期計画(27～29年度)		
						24年度		25年度		26年度			27年度以降の方向性	5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容	
						数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績				
1	千葉県シルバー人材センターの充実	シルバー人材センター運営補助事業	高齢者が豊かな経験と能力を発揮し、働くことにより、生きがいをもつ機会を確保できるように、千葉県シルバー人材センターの運営を支援します。 また、市内の企業に対して、シルバー人材センターの事業内容等のPRを積極的に行い、契約件数・契約金額の増加を図るとともに、会員数の増加を目指すなど組織の強化に努めます。	高齢福祉課	5章2-1 P80	会員数	人	3,000	2,967	3,200	2,795	3,200	2,795	↗	会員に対する就業機会の提供を行い、就業率を向上させるほか、会員の増加により、高齢者の健康維持、社会参加を促す。 また、生活支援サービスとして、ワンコインサービスなどによる地域貢献活動を拡充する。
達成率	98.9%	△	87.3%	△	87.3%										
進捗度	○	△	△	△											

第6章 尊厳ある暮らしの支援

(1) 認知症高齢者への支援

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	5期計画(24～26年度)						5期計画(24～26年度) 24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	6期計画(27～29年度)		
						24年度		25年度		26年度			27年度以降の方向性	5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容	
						数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績				
1	認知症介護研修	認知症介護研修事業	認知症の人の介護者等を対象に研修を行い、介護方法等の知識・技術の習得や介護者同士の交流を図るとともに、地域における認知症に関する理解を促します。	地域包括ケア推進課(高齢福祉課)	6章1-1 P87	参加延べ人数	人	320	354	320	361	320	311	↗	認知症への関心が高まっていることから、地域における認知症に関する知識や理解の促進を図るため、内容を検討するとともに、周知を図っていく。
達成率	110.6%	△	112.8%	△	97.2%										
進捗度	☆	△	☆	○											
3	徘徊高齢者位置情報システム事業	徘徊高齢者位置情報システム	認知症高齢者が所在不明となった場合、あらかじめ所持させている端末機により位置を確認することで早期発見・早期保護を図ります。	地域包括ケア推進課(高齢福祉課)	6章1-3 P87	登録者数	人	45	47	50	39	55	45	↗	認知症になっても住み慣れた自宅での生活が継続できるように支援するためには、検索精度や利用しやすいシステムであることが重要である。事業のPRとともに引き続き効果的なシステムとなるよう情報収集に努める。
達成率	104.4%	△	78.0%	△	81.8%										
進捗度	☆	△	△	△											
4	ちば認知症相談コールセンター事業	ちば認知症相談コールセンター運営事業	認知症の人やその家族が気軽に利用できる相談電話を千葉県と共同で運営します。また、予約制の面接専門相談を行います。	地域包括ケア推進課(高齢福祉課)	6章1-4 P87	電話及び面接相談件数	件	300	336	300	272	300	335	↗	認知症の発症及びその介護に対して不安を持つ人は多いことから、当センターは早期に気軽に相談できる場として重要であり、引き続き「認知症の人と家族の会」と連携して当センターの周知に努めていく。
達成率	112.0%	△	90.7%	△	111.7%										
進捗度	☆	○	☆	☆											
5	認知症サポート医養成	認知症サポート医養成研修事業	認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医への助言その他の支援を行い、専門医療機関やあんしんケアセンター等との連携の推進役となる認知症サポート医を養成し、認知症の発症初期から状況に応じて、医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制の構築を図ります。	地域包括ケア推進課(高齢福祉課)	6章1-5 P87	延べ養成人数	人	14	14	15	15	16	16	→	引き続き養成研修を実施し、地域での医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制を構築していく。
達成率	100.0%	△	100.0%	△	100.0%										
進捗度	☆	☆	☆	☆											
6	かかりつけ医認知症対応力向上	かかりつけ医認知症対応力向上研修	かかりつけ医に対し、適正な認知症診断の知識・技術等の習得を目的とした研修を実施することにより、認知症を早期に発見し、専門医へつなぐことで、地域と医療が連携した認知症の人への支援体制をつくります。	地域包括ケア推進課(高齢福祉課)	6章1-6 P88	修了者延べ数	人	170	173	180	182	200	188	→	引き続き研修を実施し、修了者を増やすことで認知症の人への支援体制を構築していく。
達成率	101.8%	△	101.1%	△	94.0%										
進捗度	☆	☆	☆	○											

※担当課の( )内は平成27年度組織改正以前の担当課

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における  
 主な事業の達成状況について 【計画期間：平成24年度～26年度】

資料1-3

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)  
 ○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)  
 △ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)

27年度以降の方向性  
 ↗ 拡充 → 現状維持  
 ↘ 縮小 × 廃止

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	5期計画(24～26年度)						5期計画(24～26年度) 24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	6期計画(27～29年度) 5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容	
						24年度		25年度		26年度					
						数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績				
7	キャラバンメイト養成	キャラバンメイト養成研修	認知症に関する正しい知識をもち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを養成することのできるキャラバン・メイトを養成します。	地域包括ケア推進課(高齢福祉課)	6章1-7 P88	キャラバンメイト数	人	30	14	30	42	30	37	→	引き続き養成研修を実施し、メイト数の増加を図る。養成研修の受講にあたっては、サポーター養成講座の実施意思を前提とすることをあらためて周知し、メイト数の増加がサポーター数の増加につながるようしていく。
8	認知症サポーター養成	認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識をもち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを養成することにより、認知症の人が安心して暮らせる地域づくりを推進します。	地域包括ケア推進課(高齢福祉課)	6章1-8 P88	認知症サポーター登録数	人	3,000	2,741	3,000	4,073	3,000	6,501	↗	平成29年度までに認知症サポーターとなる市民を45,000人以上養成することを目標とし、認知症に対する知識の普及啓発、認知症の人やその家族への支援を図っていく。
11	認知症疾患医療センター	認知症疾患医療センター運営事業	認知症の専門的医療の提供体制を強化するため、千葉大学医学部付属病院を指定し、鑑別診断、専門医療相談、合併症対応、医療情報提供を行う認知症疾患医療センターを院内へ設置します。	地域包括ケア推進課(高齢福祉課)	6章1-11 P88	設置数	か所	1	1	1	1	1	1	↗	認知症初期集中支援チームなど関係機関との連携を深め、認知症疾患の保健医療水準の向上に資する取組を推進していく。

(2) 高齢者擁護

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	5期計画(24～26年度)						5期計画(24～26年度) 24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	6期計画(27～29年度) 5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容	
						24年度		25年度		26年度					
						数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績				
1	高齢者虐待防止連絡会の開催	高齢者虐待防止事業	行政及び関係団体が連携を強化し、高齢者虐待の予防と早期発見・早期対応・再発防止に努めます。	高齢福祉課	6章2-1 P89	定期的な開催	回	1	1	1	1	1	1	→	連絡会を各年度1回開催し、行政及び関係団体の連携強化を図った。
2	高齢者虐待防止マニュアルの充実	高齢者虐待防止事業	高齢者虐待の実態を調査し、必要に応じて、高齢者虐待防止マニュアルを充実させ、関係機関等に配布し、高齢者虐待防止に対する周知を図ります。 また、施設等については、指導・監督を行います。	高齢福祉課 高齢施設課 介護保険課 地域福祉課 監査指導室	6章2-2 P89	実地指導件数	事業所	89	86	87	84	92	101	→	平成25年10月に高齢者虐待防止マニュアルの改訂を行った。施設等職員による高齢者への虐待について、相談や情報提供があった場合、必要に応じて調査を実施し、指導・監督を行った。 また、実地指導時に、介護保険施設等での高齢者虐待防止研修の状況を確認している。

第7章 住みなれた地域での生活支援

(1) あんしんケアセンター

	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	5期計画(24～26年度)						5期計画(24～26年度) 24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	6期計画(27～29年度) 5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容	
						24年度		25年度		26年度					
						数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績				
1	あんしんケアセンター運営	千葉県あんしんケアセンター運営事業	地域における総合的な相談窓口としてあんしんケアセンターを運営し、介護予防マネジメントを行うとともに、保健福祉サービスをはじめ様々な生活支援サービスとの調整等を行ないます。 地域包括ケアの中心的な役割を担うあんしんケアセンターを12か所から24か所に増設し、ネットワークの構築を進めるほか、機能の充実を図ります。	地域包括ケア推進課(高齢福祉課)	7章1-1 P97	あんしんケアセンター設置か所	か所	24	24	24	24	24	24	↗	あんしんケアセンターが地域で認識され順調に活動の場を広げるのに伴い、介護保険制度に係ることのみならず、地域で自主的に活動する団体の支援やリーダーとなる人材の育成など期待されている。また、自宅訪問等手厚くきめ細やかな相談対応が第一の業務であり、これらを行うためには現在の配置人数では対応困難な状況となっている。1センターあたりの包括三職種の配置人数の適正化を図るとともに、今後の高齢者人口の増加等を鑑み、あんしんケアセンターの増設を検討していく。

※担当課の( )内は平成27年度組織改正以前の担当課

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における  
 主要事業の達成状況について 【計画期間：平成24年度～26年度】

資料1-3

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)  
 ○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)  
 △ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)

27年度以降の方向性  
 ↗ 拡充 → 現状維持  
 ↘ 縮小 × 廃止

(2) 保健・医療・福祉の一体的サービスの提供

事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		5期計画(24～26年度)						24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容	
							24年度		25年度		26年度					
							数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績				
2	地域の保健・医療・福祉関連連携の強化	在宅医療推進事業	困難事例の対応のために、区の保健福祉センター・あんしんケアセンターを始め、ケアマネジャーや介護サービス提供機関、住民参加型組織等との連絡・調整機能の充実を図り、地域の保健・医療・福祉活動にかかわるさまざまな機関の連携を強化します。	地域包括ケア推進課(健康企画課)	7章2-2 P98	多職種連携会議の開催数	団体	△	△	3	3	12	12	モデル会議を経て、市内6区で多職種連携会議を立ち上げ、異業種同士の相互理解と知識の向上を図ることで、在宅医療推進のための連携を強化した。	↗	引き続き、多職種連携会議を開催するとともに、従事者向けに在宅医療・介護連携に関する研修を開催し、各職種のスキルアップと参加者間の連携の強化を図る。
								達成率	△	△	100.0%	△	100.0%			
								進捗度	△	△	☆	△	☆			

(3) ひとり暮らし高齢者等への支援

事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		5期計画(24～26年度)						24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容	
							24年度		25年度		26年度					
							数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績				
9	地域見守り活動支援	地域見守り活動支援	ひとり暮らし等の高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、社会福祉法人等が行う地域見守り活動支援に係る経費について、補助金を交付します。	高齢福祉課	7章3-9 P99	補助金交付団体数(初度調弁)	団体	10	10	20	12	20	8	地域での見守り活動を行う団体は年々増加しており、見守り活動の必要性、重要性が認識されているものと思われる。見守り活動支援事業を継続し、団体の立ち上げ支援を行っているが、活動を開始した団体へのフォローが十分に実施できなかった。 平成24年度見守り活動団体数 14団体 平成25年度見守り活動団体数 26団体 平成26年度見守り活動団体数 34団体	↗	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、また、孤立死・孤独死に至ることがないよう地域で支え合う仕組みが急務であり、見守り活動を行う団体を増やすとともに、活動を開始した団体をフォローすることで、見守りの充実を図る。
								達成率	100.0%	△	60.0%	△	40.0%			
								進捗度	☆	△	△	△	◆			
9	高齢者見守りネットワーク構築の推進	孤独死防止通報制度	ライフライン事業者、新聞配達事業者、宅配事業者等の協力により、日常業務の中で発見した高齢者宅等の異変を区に通報してもらい、その後民生委員や市職員等が現地に出向き安全確認を行います。	地域福祉課	7章3-9 P99	協定締結事業者数	事業者	△	△	—	16	17	25	ライフライン事業者、新聞配達事業者、宅配事業者等との協定を締結し、高齢者宅の異変を区に通報してもらい、その後民生委員や市職員等が安全確認を行う「孤独死防止通報制度」を平成25年7月から開始した。 また、各年度1回ずつ協力事業者を集め、本制度に関する連絡会議を開催した。平成26年度未現在、25事業者と協定を締結している。	↗	今後も段階的に協力事業者を増やしていく、制度の充実を図る。
								達成率	△	△	—	△	147.1%			
								進捗度	△	△	—	△	☆			
18	地域のつどい・ふれあい入浴事業	地域をつどい・ふれあい入浴事業 ※対象は高齢者のみ。小学生、乳幼児は生活衛生課所管。	高齢者同士や多様な世代の市民が、コミュニケーションを深め、交流が図れるよう公衆浴場の利用に対し助成を行います。	高齢福祉課	7章3-18 P99	高齢者の利用者数	人	87,360	57,387	87,360	63,305	66,386	65,046	利用日の拡大や銭湯・公民館にポスターを掲示するなど市民への周知を図ることにより、利用者は年々増加しており、高齢者の健康増進及び外出支援への効果が現れている。 一方で、廃業する銭湯や区によっては銭湯がないなど、利用が一部の高齢者に限られてしまっているといった課題もある。	→	高齢者の健康増進及び外出支援に向けて引き続き市民への周知を図るとともに、利用が一部の高齢者に限定されていることから、事業のあり方について検討する必要がある。
								達成率	65.7%	△	72.5%	△	98.0%			
								進捗度	△	△	△	△	○			

(4) 支え合いの体制づくりへの支援

事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		5期計画(24～26年度)						24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容	
							24年度		25年度		26年度					
							数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績				
3	千葉市民活動支援センター((旧)市民活動センター)	千葉市民活動支援センター	ボランティア活動やNPO活動に関する情報提供や活動場所の提供、活動に関する相談などを行います。	市民自治推進課	7章4-3 P100	利用者数	人	16,000	16,644	16,000	15,466	16,000	16,239	平成26年度から指定管理者制度を導入。指定管理者のノウハウを活かしたサービスの提供、効率的な施設運営、効果的なPR等により、施設利用者数が増加した。	↗	引き続き指定管理者により、より高質なサービスの提供及びより効果的なPRを行う。
								達成率	104.0%	△	96.7%	△	101.5%			
								進捗度	☆	△	○	△	☆			

(5) 防犯・防災対策の推進

事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		5期計画(24～26年度)						24～26年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	27年度以降の方向性	5期計画(実績等)を踏まえて、6期計画期間における課題・検討事項、具体的な取組内容	
							24年度		25年度		26年度					
							数値目標	実績	数値目標	実績	数値目標	実績				
7	ちばし安全・安心メール	ちばし安全・安心メールの充実	防犯・防災に関する情報を、電子メールにより市民等に提供し、市民の防犯防災に対する意識向上を図ります。	地域安全課(市民サービス課) 防災対策課	7章5-7 P102	登録者数	人	42,000	41,314	43,000	42,280	44,500	42,792	様々な周知を行うことで、登録者数が増加した。	→	引き続き、市民への周知を図り安全・安心メールの有効活用に向けていく。
								達成率	98.4%	△	98.3%	△	96.2%			
								進捗度	○	△	○	△	○			
10	消費者被害の防止	くらしの巡回講座	悪質商法などから高齢者を守るため、高齢者や高齢者に接する機会が多い方々に対し、くらしの巡回講座を実施し、悪質商法の手口や対処方法などの理解の促進を図ります。	消費生活センター	7章5-10 P102	くらしの巡回講座(高齢者)	人	660	2,008	2,010	2,912	2,930	3,495	受講者は年々増加しており、各年度とも数値目標を上回っている。 平成24年度受講者数 2,008人 平成25年度受講者数 2,912人 平成26年度受講者数 3,495人	↗	引き続き、暮らしの巡回講座を積極的に実施し、高齢者等が悪質商法・詐欺の手口やその対処法を学ぶ機会を数多く提供していく。
								達成率	304.2%	△	144.9%	△	119.3%			
								進捗度	☆	△	☆	△	☆			

※担当課の( )内は平成27年度組織改正以前の担当課